

## 1 公共工事発注者支援業務

愛知県内の発注者支援機関として認定※1された当協会が、発注者の立場で市町村の支援※2を行う業務です。

- ①設計支援業務、②積算支援業務、③監督支援業務、④検査支援業務、⑤技術審査支援業務の5種類を揃えています。

※1 認定の評価対象となっているのは②～⑤

※2 支援とは業務過多に伴う業務の代行、技術力向上を図るための人材育成

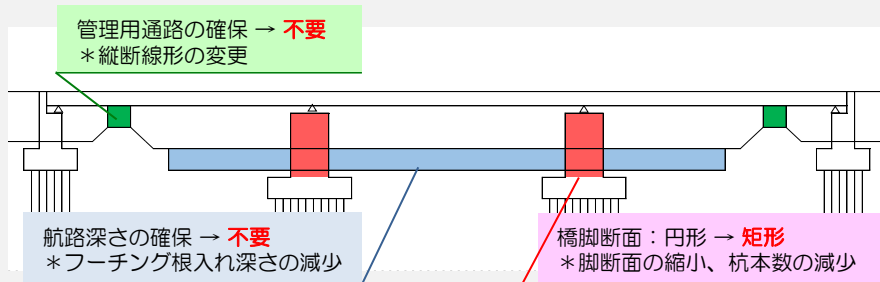
◆9月頃に愛知県建設企画課より次年度実施に関する照会があります。

### 事例紹介

#### ①A市の事例（不十分な管理者協議による過大な設計の是正）

発注者による管理者との条件確認が不足していたため、必要以上に安全側の設計となっていた。

→ 協会からの助言をもとに再協議を行い、設計を修正した。



#### ②B市の事例（施工不可能な施工計画の是正）

橋台場所打杭の施工ヤードが民地前の市道を封鎖して施工する設計であった。また、施工機械の搬入ルートが確保されていなかった。（進入不可能）

→ 協会から市へ上記助言を行い、施工計画を修正した。

#### ③C市の事例（維持管理、LCCを向上させた仕様への提案）

臨海部のグラウンド整備において、耐久性や維持管理性に配慮しない設計をしていた。

→ 維持管理、LCCを向上させた仕様へ協会から助言し、設計を修正した。その他コスト縮減提案も行い、イニシャルコスト増を抑えた。

## 2 道路橋定期点検支援業務

当協会は、愛知県道路メンテナンス会議において、愛知県における地域一括発注の実施機関として位置づけられ、愛知県建設部と「地域一括発注に関する協定」を締結しています。

市町村の橋梁点検を一括して受託し、国、県の担当者や学識経験者から技術的助言が受けられる「診断結果評価会議」で評価の高度化及び統一化を図ります。また、管理者との入念な協議が必要となるこ線橋、こ道橋等についても実施しています。

- ・R2実績・・・14市町（点検橋梁数…477橋、こ線橋の事前協議橋梁数…21橋）
- ・R3実施・・・21市町（点検橋梁数…561橋、こ線橋の事前協議橋梁数…9橋）

◆9月頃に道路メンテナンス会議（事務局：愛知県道路維持課）より次年度実施に関する照会があります。

## 3 建設技術研修

県、市町村職員の技術力向上を図るため、土木技術の実務研修（県との共催）と行政職員の素養を磨く独自研修を行っています。

## 4 あいち建設情報共有システム

令和元年6月に品確法が改正され、情報通信技術を活用した公共工事の効率化等が、受発注者の責務とされたことを受け、工事中におけるICT情報通信技術の提供を行う業務です。

①発議書類作成、②ワークフロー（決裁）、③書類管理、④オンライン電子納品等の機能を備えています。

ポータルサイト <http://www.aichi-toshi.or.jp/akis-ps/>

### ●実績

- R1・・・愛知県（建設局、都市整備局）
- R2・・・愛知県（建築局、農林基盤局、農業水産局、企業庁）、岡崎市
- R3・・・愛知県（防災安全局）、名古屋高速道路公社、東海市、一宮市
- R4（予定）・・・刈谷市、尾張旭市

◆導入検討にあたっては、(公財)愛知県都市整備協会が随時説明させていただきます。

## 5 その他

安定した技術支援体制を確保するために学識経験者との連携をしております  
・土木学会中部支部とインフラ維持管理における自治体支援等の協力協定を締結  
・協会の技術力向上を目指し「技術アドバイザー」を設置

問い合わせ先

(公財)愛知県都市整備協会 まちづくり事業部 建設技術課  
TEL:052-951-2550 Email:kensetsuka@aichi-toshi.or.jp